

スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



南アフリカ共和国

Republic of South Africa



都市名	人口（万人）
ヨハネスブルグ	632
ケープタウン	498
エクルレニ	419
ダーバン	326
プレトリア	289

（出所） World Population Review

※外務省「南アフリカ基礎データ」より首都はプレトリア

目次

【スポーツ関連】

1.市場情報

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場情報 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

2.スポーツ習慣

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 6
- 主なスポーツリーグ・スタジアム 7

3.業界情報

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 9
- 現地主要企業 10
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 11
- スポーツ産業にかかる日本企業の進出状況 12

4.展示会、国際競技大会等開催情報

- 商談会・展示会開催情報 13
- 国際競技大会開催情報 14

5.政策動向

- スポーツ基本計画概要 15
- SDGsへのコミットメント 16
- 女性の活躍推進に関する取組 17
- 「健康・福祉」に関する取組 18

【一般概況】

6.経済

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 19
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 20
- 世帯所得分布 21
- 賃金 22

7.健康・医療

- 医療費支出 23
- 疾病構造・死亡要因 24

8.規制

- 外資に関する規制 25

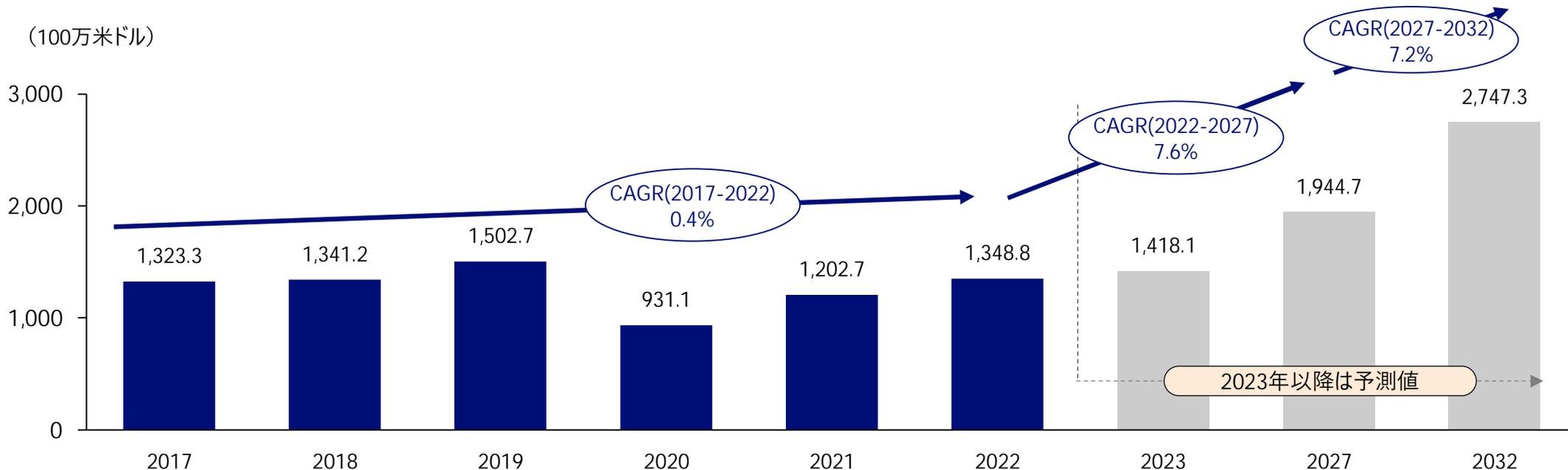
スポーツ産業市場規模推移

- 本ページにおけるスポーツ産業市場は、観戦型スポーツおよび体験型スポーツの売上と関連グッズの売上にて構成されている。
- 2022年の南アフリカにおけるスポーツ産業市場規模は約13.5億米ドル（約2,100億円）、CAGR（2022-2027）は7.6%。
- 2017年から2022年までのCAGRは0.4%と低いものの、2022年以降で7%以上のCAGRで成長することが予測されている。

※本カントリーレポートでは、1米ドルを158円で計算している。

※本ページで記載しているスポーツ産業市場規模において使用する出所はP3の主要コンテンツ市場（スポーツウェア市場及びスポーツドリンク市場）と異なるため、ページ間の比較ができない。

スポーツ産業市場規模推移



(出所) Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2032

主要コンテンツ市場情報

👕 スポーツウェア市場

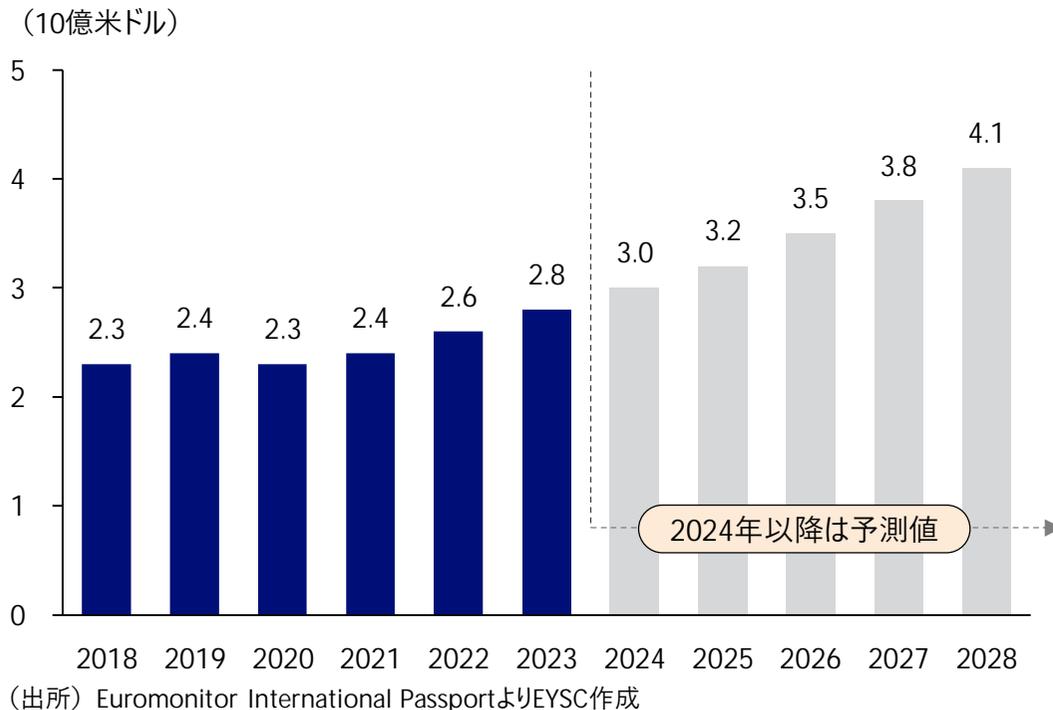
- 2023年の小売売上高は約28億米ドル (約4,400億円)。
- 2023年のスポーツウェア市場において、Nike South Africaが小売売上高シェア17%を占め、国内トップである。
- 2024年以降、CAGR8.1% (2024-2028) で成長し、2028年に約41億米ドル (約6,500億円) に達する予測。

🍷 スポーツドリンク市場

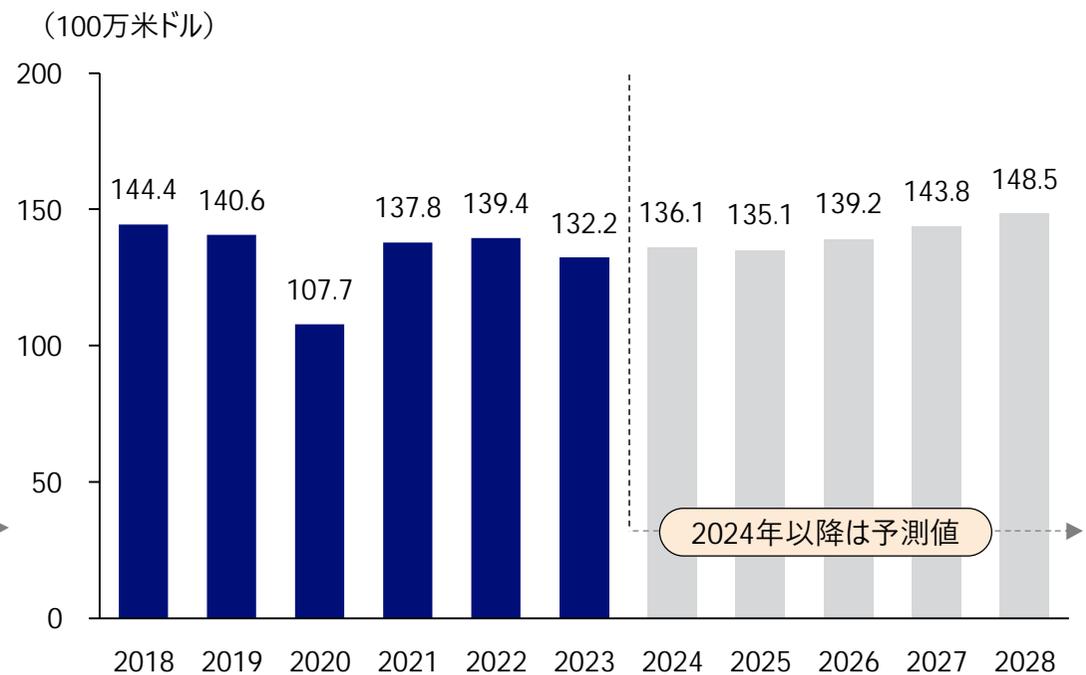
- 2023年の小売売上高は約1.3億米ドル (約200億円) であり、市販売上数量は約8,400万リットルである。
- 2023年のスポーツドリンク市場において、BromorFoods (食品メーカー) が市販数量シェア49%を占め、国内トップである。

※本ページで記載しているスポーツウェア市場及びスポーツドリンク市場において使用する出所はP2におけるスポーツ産業市場規模と異なるため、ページ間の比較ができない。

スポーツウェア市場規模推移



スポーツドリンク市場規模推移



スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業従業者数割合 (%) ※1	スポーツ産業事業者数※3	1事業者当たりの売上 (米ドル)
南アフリカ	0.001%※2	333	4,049,928

※1「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

※2南アフリカのスポーツ産業従事者数は1,019人

※3「スポーツ産業事業者数」は現地でスポーツ関連の事業を行う法人数

他国の参考情報

国	スポーツ産業従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (米ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474

※「スポーツ産業従事者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上」と「他国の参考情報」において使用する出所は異なるため、比較はできない。

（出所）Global Market Model「Sports Global Market Briefing 2024」（スポーツ産業数割合、事業者数及び1事業者当たり売上）

Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030（他国の参考情報）

現地で盛んな競技

- パリ2024大会において、オリンピックでは6個、パラリンピックでは6個のメダルを獲得。
- 2024年時点で冬季オリンピック・パラリンピックで出場選手はいるが、メダルを獲得した実績はない。
- ラグビーが盛んであり、ワールドカップでは4回の優勝（1995年、2003年、2019年、2023年）を誇る強豪国である。
- 「Most popular sports activities in South Africa as of March 2024」によると、最も人気のあるスポーツアクティビティは「フィットネス、エアロビクス、有酸素運動」（38%）、次いで「ランニングとジョギング」（34%）である。
- 2023年にガーナにて開催された第13回アフリカ競技大会（African Games）でのメダル総獲得数はエジプト、ナイジェリア、アルジェリアに次ぐ4位であった。次回大会は2027年にエジプトにて開催予定。

パリ2024大会における南アフリカの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
競泳	2	1	1	0
陸上競技	2	0	2	0
7人制ラグビー	1	0	0	1
自転車競技（マウンテンバイク）	1	0	0	1

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
陸上競技	4	2	0	2
車いすテニス	1	0	0	1
自転車競技（ロード）	1	0	0	1

一人当たりスポーツ支出

一人当たりスポーツ支出 (年間)

国	一人当たりの スポーツ支出 (米ドル)
南アフリカ	21.9

他国の参考情報 (年間)

国	一人当たり スポーツ支出 (米ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128.0
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※「一人当たりスポーツ支出 (年間)」と「他国の参考情報 (年間)」において使用する出所は異なるため、比較はできない。

(出所) Global Market Model「Sports Global Market Briefing 2024」(一人当たりスポーツ支出)
Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030 (他国の参考情報 (年間))

主なスポーツリーグ・スタジアム (1/2)

南アフリカにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数	主要チーム※1	主要スポンサー※2
Currie Cup Premier	ラグビー	1891年	8	7月~9月	—	<ul style="list-style-type: none"> Fidelity Adt Lions Vodacom Bulls Hollywoodbets Sharks Toyota Cheetahs 	<ul style="list-style-type: none"> MTN Nike We Buy Cars FNB
Premier Soccer League	サッカー	1996年	16	8月~5月	—	<ul style="list-style-type: none"> Mamelodi Sundowns FC Orlando Pirates FC Stellenbosch FC Sekhukhune United FC 	<ul style="list-style-type: none"> Betwey NEDBANK MTN Black Label
Basketball National League	バスケットボール	2013年	11	10月~6月	—	<ul style="list-style-type: none"> KwaZulu Marlins Mpumalanga Rhinos MBB Tshwane Suns 	<ul style="list-style-type: none"> SuperSport Joburg Genius sports
CSA T20 Challenge (クリケット)	クリケット	—	8	3月~4月	—	<ul style="list-style-type: none"> Lions Dolphins Warriors Titans 	<ul style="list-style-type: none"> Betwey Nedbank Namibia

※12023-2024シーズンまたは2024シーズンにおける上位チームを記載 ※2リーグの主要スポンサー企業を記載

(出所) Premier Soccer League、Basketball National League、SA Rugby League、ESPNcricinfo「CSA T20 2024 – Points Table」

主なスポーツリーグ・スタジアム (2/2)

主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
FNB Stadium	ヨハネスブルク	94,736	1989
Ellis Park	ヨハネスブルク	62,567	1928
Mmabatho Stadium	マフィケング	59,000	1981
Moses Mabhida Stadium	ダーバン	56,000	2009
Cape Town Stadium	ケープタウン	55,000	2010
Loftus Versfeld	プレトリア	51,762	1906
Newlands Stadium	ケープタウン	51,489	1890
Nelson Mandela Bay Stadium	ポートエリザベス	48,459	2009
Vodacom Park	ブルームフォンテイン	48,000	1995
Royal Bafokeng Stadium	フォケング	44,530	1999
Peter Mokaba Stadium	ポロクワネ	41,733	2010
Mbombela Stadium	ネルスプロイト	40,929	-
Orlando Stadium	オーランド	40,000	2008
Athlone Stadium	ケープタウン	34,000	1972
Wanderers Stadium	ヨハネスブルグ	34,000	1965
Newlands Cricket Ground	ケープタウン	25,000	1888

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
CSA T20 Challenge (クリケット)	タイタンズクリケット	<ul style="list-style-type: none">• Momentum multiply• Emperors Palace• Garmin• Avbob	Jacques Faul (CEO) ※	日本クリケット協会

※ 2023年時点

現地主要企業

現地主要企業

企業名称	カテゴリ	概要
Jarden South Africa	スポーツ用品	釣り具の製造・販売
Hasbro SA	スポーツ用品	スポーツ・アウトドア用品の製造・販売
Mr Price Group	スポーツウェア	スポーツウェア・スポーツアパレルの製造・販売
Capestorm	スポーツウェア	スポーツウェアの製造・販売
Kimoscape	フィットネスクラブ	ジムのフランチャイズ運営
Virgin Active South Africa	フィットネスクラブ	ジム・スポーツ施設及びスポーツスクールの運営
Tiger Brands	スポーツドリンク	スポーツドリンクの製造
Dis-Chem Pharmacies	スポーツニュートリション	ヘルスケア用品の販売
Ultimate Sports Nutrition	スポーツニュートリション	スポーツニュートリション製品（プロテイン、サプリメント等）の製造・販売

教育分野におけるスポーツの活用動向

National School Sport Indaba

- National School Sport Indaba（会議）は2023年9月にスポーツ・芸術・文化省のZizi Kodwa大臣を中心にスポーツ界のリーダーや教育関係者、政府関係者、元アスリート、スポーツ分野での活動家等を集めて開催された。
- 本会義では、「統合された統一的な学校スポーツの体制に向けて」をテーマとして設定した。
- 本会議では以下の決議を採択した。
 - 政策：スポーツ・芸術・文化省と基礎教育省間の基本合意書の効力を発揮するために、「協定の継続的な履行」や「公的な計画立案」、「公的手続きを通じた協定履行の監視」を実施する。
 - リソース：広い範囲でのコミュニティ空間を提供する学校中心のスポーツ施設の建設を推進し、学校施設を最大限に活用し、研究された適切なモデルを通じた官民でのパートナーシップを奨励する。
 - 開発：子供たちが定期的にスポーツをすることに焦点を当てる。学校でのスポーツは教育者の主導で行われ、正式なトレーニングプログラムを通じてエコシステム内の全ての担当者の能力を育成する必要がある。また、体育は独立した科目として導入する必要がある。
 - 利害関係者の関係と構造：スポーツ・芸術・文化省、基礎教育省、南アフリカスポーツ連盟・オリンピック委員会（Sascoc）の支援を受けて、学校スポーツに関する全国的なマクロ組織を設立する必要がある。
 - ガバナンスと変革：断片化されている学校スポーツの体制統合の統制を行う。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金（米ドル）	出資比率（%）	従業員数	事業内容
Asics South Africa	アシックス	－	－	996	サスペンダーや靴下止め、ハンカチ、衣類を製造。
Srixon Sports South Africa	ダンロップスポーツ	－	－	24	南アフリカのヨハネスブルグを拠点とし、スリクソン、クリーブランドゴルフ、その他のブランドのゴルフ用品を販売。

商談会・展示会開催情報

南アフリカで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
All Sport Expo	ケープタウン	Synergy	毎年	スポーツ用品、テクノロジー、栄養食品、衣服等
Two Oceans Marathon Expo	ケープタウン	Two Oceans Marathon	毎年	アウトドア用品、靴、スポーツ用品等
Sports & Events Tourism Exchange	ケープタウン	RX South Africa	毎年	スポーツツーリズム

南アフリカで開催されるスポーツに近い分野での商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
Africa Health	ケープタウン	Informa Markets	毎年	医療機器・デバイス、ヘルスケアサービス等
Halal Trade, Logistics and Manufacturing Expo	ヨハネスブルク	Dadem Events	毎年	食品・飲料、化粧品、医薬品、ファッション等

（出所）各種HPより作成（南アフリカで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会）、
JETRO「世界の見本市・展示会情報（J-messe）」よりEYSC作成（南アフリカで開催されるスポーツに近い分野での商談会・展示会）

国際競技大会開催情報

南アフリカで開催予定の国際競技大会

大会名	開催時期	主催者	参加国数	参加選手数	摘要
Men's Cricket World Cup	2027年	International Cricket Council	14カ国	—	ジンバブエとナミビアとの共同開催

2024年までに南アフリカで開催された国際競技大会

大会名	開催時期	主催者	参加国数	参加選手数	摘要
Rugby World Cup Sevens	2022年	World Rugby	男子 24カ国 女子 16カ国	—	—
世界卓球選手権（個人戦）	2023年	International Table Tennis Federation	—	男女シングルス 各128人 男女・混合ダブルス 各64組	—
WXV2（女子15人制ラグビー）	2024年	World Rugby	6カ国	—	—

（出所） Topend Sports「Calendar of Major Sporting Events for the upcoming years」、
World Rugby「Dates and new qualification pathway confirmed as Rugby World Cup Sevens 2022 looks to inspire a new generation of rugby fans」、
World Rugby「WXV」

スポーツ基本計画概要

- スポーツに関する計画はDepartment of Sports, Arts and Cultureの「Strategic Plan 2020|2025」の中で言及されており、スポーツ・芸術・文化セクターにおいて政府が優先的に取り組むべき事項について記載されている。

計画名称	Department of Sports, Arts and Culture Strategic Plan 2020 2025
策定年	2020
計画概要	活動的かつ創造的で、勝利を目指し、社会的に結束した国家になるという新たなビジョンに向けて、スポーツや芸術、文化のセクターとしてこれを実現するための環境を整備することをミッションとし、社会的結束の強化や経済成長の促進、南アフリカの国民的価値観やアイデンティティの形成を目指している。
主要目標・施策	<p>【優先的な成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 成果目標 1 : スポーツ、文化およびクリエイティブ産業における市場シェアの増加と雇用機会の創出■ 成果目標 2 : 共通の国家アイデンティティを有する、多様で社会的にまとまりのある社会 <p>【上記を達成するための成果目標】</p> <p>2つの優先的な成果目標で示した理想に向けた取り組みを促進し、効果を最大化するために3つの成果目標を設定。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 成果目標 3 : 変革され、優れており、専門的なスポーツや芸術、文化のセクター■ 成果目標 4 : 統合されており、誰でもアクセス可能なスポーツや芸術、文化に関するインフラと情報■ 成果目標 5 : コンプライアンスと即応性に優れたガバナンス

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、**世界167カ国中115位 (2024年)**。
- 特に課題が残る項目は「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」、「すべての人に健康と福祉を」、「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、「働きがいも経済成長も」、「人や国の不平等をなくそう」、「住み続けられるまちづくりを」、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさを守ろう」、「平和と公正をすべての人に」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- : SDGsを達成している
- : 課題が残る
- : 重要課題が残る
- : 主要課題が残る
- : 情報入手不可
- ↑ : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ : 穏やかに改善
- : 停滞
- ↓ : 悪化
- : 傾向把握不可

女性の活躍推進に関する取組

政府による「ジェンダー平等」に関する取組

- Sustainable Development Report 2024によると、「ジェンダー平等」の項目は、課題が残っている状況である。
- 本項目に係る要素のうち、下記を達成している。
 - 近代的な手法による家族計画の要望が満たされる割合
- 本項目に係る要素のうち、下記は達成できていない。
 - 女性と男性の平均教育年数の比率
 - 女性の労働力参加率と男性の労働力参加率の比率
 - 国会における女性の議席数

女性の活躍推進×スポーツの事例

- Momentum gsport Awards
 - 女性スポーツメディア「gsport4girls」の運営企業「Gsport」が開催する女性アスリートを対象とした表彰イベント。
 - スポーツで功績を残した女性を表彰することを通して、スポーツ界における女性の地位向上を目指す。
 - 2019年より、南アフリカの保険会社「Momentum」と結んだネーミングライツパートナーシップでは、女性を表彰するだけに留まらず、男女間でのスポンサーシップにおける格差是正も目標としている。
 - 2006年から始まった本イベントは2024年までに240人以上を表彰しており、年々ノミネート数や受賞者数、賞金額が増加している。
 - 2019年世界水泳選手権において、南アフリカ人女性として初めて200m平泳ぎで銀メダルを獲得したTatjana Smith氏が2024年に受賞している。

「健康・福祉」に関する取組

政府による「健康・福祉」に関する取組

- Sustainable Development Report 2024によると、「健康・福祉」の項目は主要な課題が残っている状況である。
- 本項目のうち、下記を達成している。
 - 新生児死亡率
- 本項目のうち、下記は達成できていない。
 - 妊産婦死亡率
 - 5歳未満児死亡率
 - 10万人当たりの結核感染者数
 - 感染者1,000人当たりの新規HIV感染者数
 - 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率
 - 家庭内及び外部の大気汚染による死亡率
 - 道路交通事故による死亡率
 - 出生時平均余命
 - 女性1,000人当たりの青年期の出生率
 - 非専門技能者の立ち会いの下での出産の割合
 - WHOが推奨するワクチンを2回接種した乳児の生存率
 - ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）のサービス普及率指数
 - 主観的幸福度

「健康・福祉」×スポーツの事例

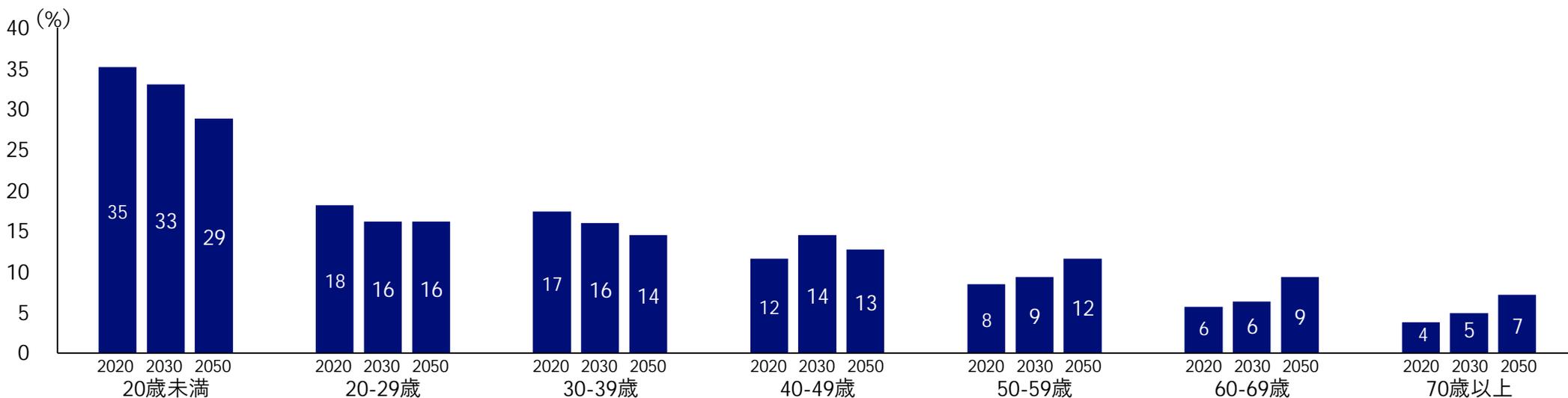
- The Move for Health Day
 - WHOが策定したMove for Health Dayにおいて、南アフリカ政府として活動を実施。
 - 持続的な身体活動に向けたイニシアチブ、政策、プログラムの開発を促進することを目標とする。
 - また、スポーツ組織やイベント、フォーラムを通して、国民が身体活動への参加数増加を目指している。

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



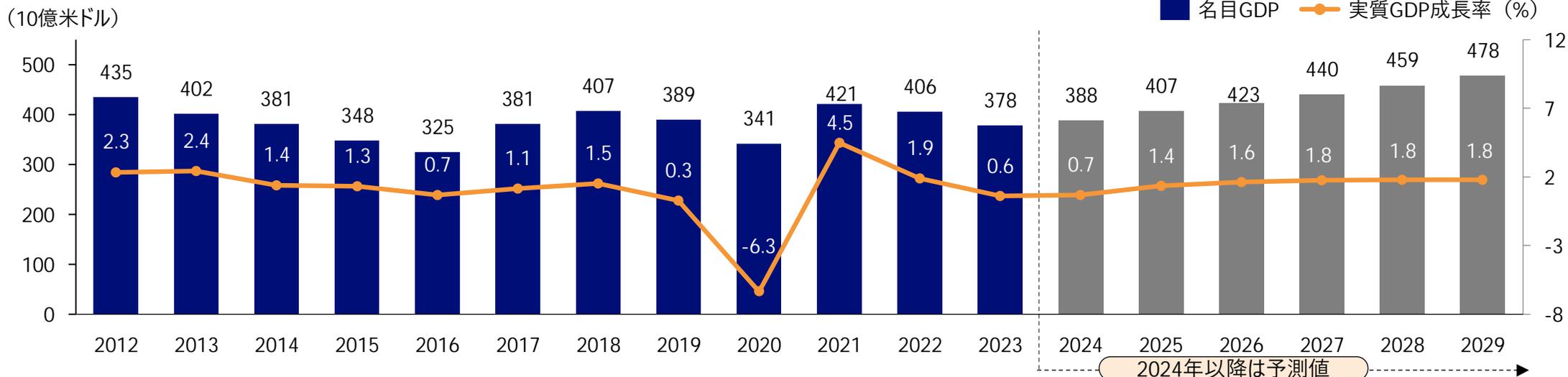
年齢別人口構成



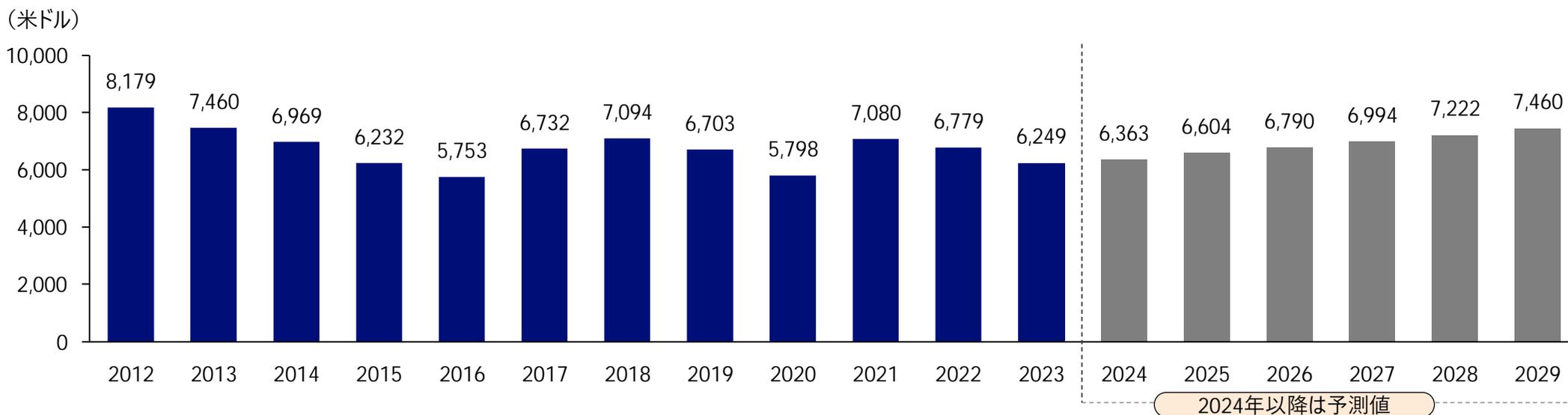
(出所) Oxford Economics、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

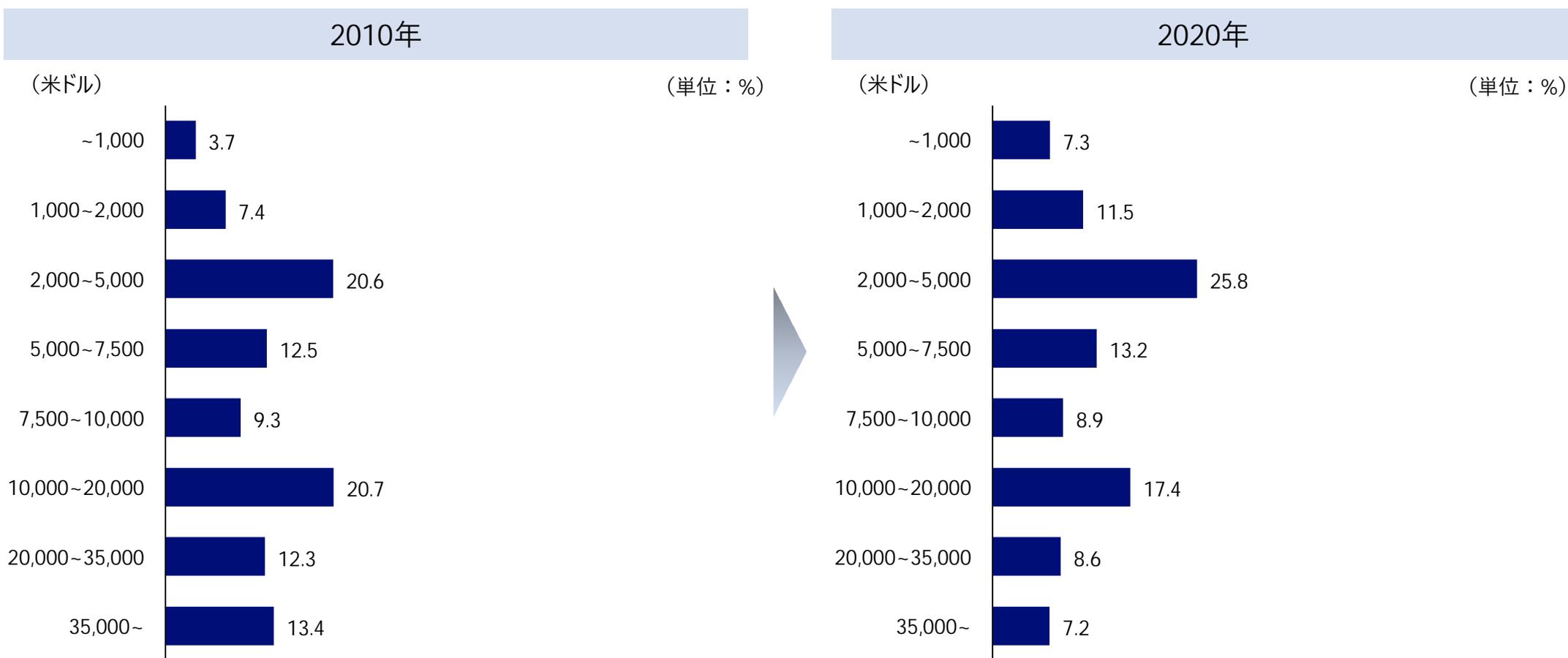


(出所) Oxford Economics

世帯所得分布

- 2010年の世帯所得分布において、2,000～5,000米ドルと10,000～20,000米ドルを中心に二つの山が形成されており、南アフリカにおいて所得格差があることが分かる。2020年の世帯所得分布においても、同様の傾向が見られる。

世帯所得分布



賃金

- 南アフリカの「製造業」における従業員の平均年給は約230万円、「卸売業、小売業」における従業員の平均年給は約160万円となっており、南アフリカの産業全体での平均年給260万円よりも低い。
- 「Key findings: P0277 - Quarterly Employment Statistics (QES), December 2023」より、スポーツ市場に関連が深い産業として「製造業」、「卸売業、小売業」を抜粋した。

※本ページで記載されている賃金は、従業員の収入であり、企業が従業員を雇用するために支払う負担総額（実負担額）を指すものではない。

南アフリカの産業における賃金と前年比昇給率※1

産業	平均月給※2 (単位：円)	平均年給※3 (単位：円)	前年比昇給率 (%) ※4 (2021→2022)	前年比昇給率 (%) ※5 (2022→2023)
製造業	191,374	2,296,488	0.4%	-1.3%
卸売業、小売業	137,328	1,647,936	-0.1%	-2.7%
全体	217,630	2,611,560	2.2%	-0.3%

※1ランドを9.12円として計算（2023年の年間平均）

※22023年11月時点での平均月給（ボーナスおよび残業代を含む）

※32023年11月時点での平均月給を12倍した数値

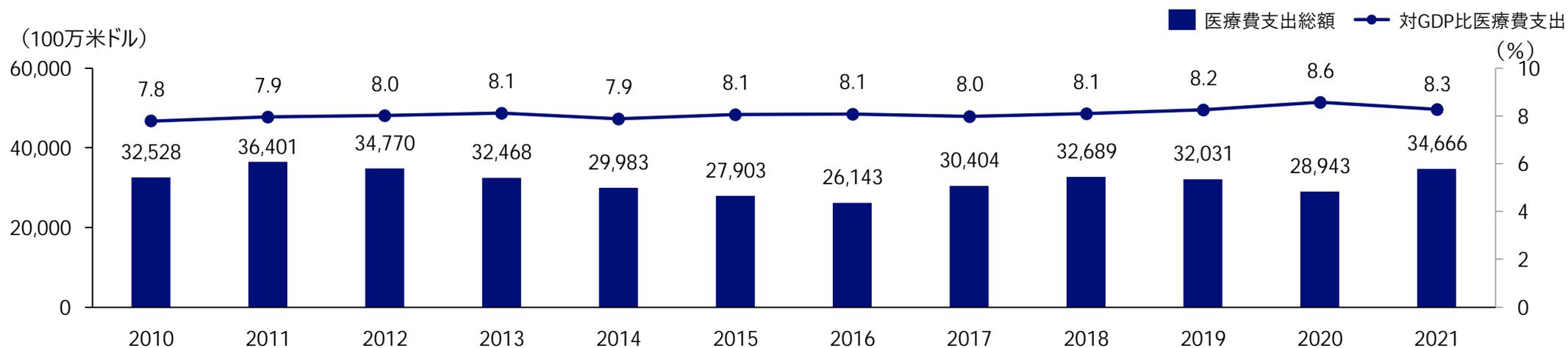
※42021年11月時点と2022年11月時点での平均月給の昇給率

※52022年11月時点と2023年11月時点での平均月給の昇給率

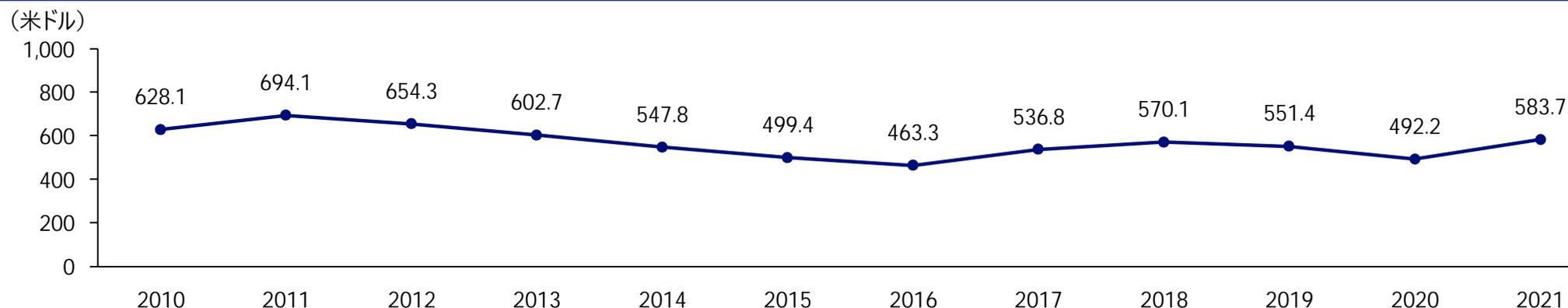
医療費支出

- 2021年の医療費支出は約347億米ドル（約5.5兆円）で、対GDP比で8.3%である。
- 2021年の一人当たり医療費は583.7米ドル（約92,000円）であった。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人当たり医療費推移



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

- 主要疾患（死亡要因）の中で、運動習慣が発症・進行に関与するのは脳卒中、糖尿病、虚血性心疾患、高血圧性心疾患である。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2021年）

順位	疾病名
1	COVID-19（新型コロナウイルス感染症）
2	HIV/AIDS（HIV/エイズ）
3	Stroke（脳卒中）※
4	Diabetes（糖尿病）※
5	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）※
6	Lower respiratory infect（下呼吸器感染症）
7	Tuberculosis（結核）
8	Road injuries（交通外傷）
9	Interpersonal violence（対人暴力）
10	Hypertensive heart disease（高血圧性心疾患）※

※  運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> 外資による銀行・保険などの金融業への投資には、政府の認可が必要。また外国人による新設銀行の株式保有は、15%に制限されている。 通信事業への投資は、南アフリカ独立通信庁（Independent Communications Authority of South Africa：ICASA）の認可が必要。鉱業については、鉱物資源省（Department of Mineral Resources & Energy）の認可が必要。
出資比率	<ul style="list-style-type: none"> 一部の業種を除き、合併企業設立時の出資比率に関する規制はない。 すべての鉱業関連企業は、黒人資本参加比率（黒人女性を含む、直接保有比率）を26%以上にしなければならない。2018年の鉱業憲章により新規の投資については30%以上が必要となった。
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> 外国企業による土地所有は可能、制限なし。土地の売買はすべて土地譲渡法（Alienation of Land Act）で規制されている。 外国企業は、南アで土地の売買および所有が可能であるが、場合によっては次の付属条件がつく。 <ol style="list-style-type: none"> 購入登録企業者が、現地事業体として認可されていること。 購入登録企業の株の所有者が南ア居住者でない場合は、南ア国民である公証人（public-officer）に仲介を委任することが必須。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。
その他規制	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。